

研究開発への影響」についての自由討議ではこの際本会議として発言すべきであるという意見が強かった。

総会前日の午前中開催された連合部会では人間と科学特別委員会からの話題提供により「科学者憲章」(仮称)(第3次案)との関連での科学者の責任の問題および組

換 DNA にかかわる問題が活発に議論された。

なお、今総会の出席率は第1日から第3日まで、それぞれ89%, 86%, 79%であった。

(日本学術会議広報委員会)

沖縄管内気象研究会 宮古島地台で開催される

昭和51年度の気象研究会は、更新されて間もない白いドームの輝く管内随一のしょうやかな宮古島地台で、3月10日、11日の両日にわたり、沖縄気象台との共催で開催された。

今年から平素研究交流に乏しい地方官署の会員にできるだけ参加していただき、今後の調査・研究の意欲を高めていただくため、はじめて地方官署で行なわれた。

沖縄気象台長の挨拶にはじまり、次のように22の論文が発表された。論文は予報、レーダ関係のものが多く、このほかに地震、雲などバラエティーに富んだもので、実り多い会であった。

発表された論文

第一部(発表順)

1. 沖縄本島における山(がけ)崩れと先行雨量について 沖縄気象台 真喜屋実彦
2. 1976年7月29日の偏東風波動の解析 沖縄気象台 玉城 真通
3. 台風域内の風速の予想 宮古島地台 赤羽 俊朗
4. 宮古島における冬季の天候ベースの波数とパターンについて 宮古島地台 平岡 季康
5. 石垣島と宮古島の大雨について 宮古島地台 本村 隆俊
6. 700mb 湿数および鉛直流と石垣島の天気 石垣島地台 正木 謙
糸満 英典
7. 平良港における季節風時の沿岸波浪と風 宮古島地台 根間 俊明
8. 宮古島の強風に関する統計 宮古島地台 根間 俊明
9. 宮古島レーダによる平均エコー量分布について 宮古島地台 下地 朝勇
外レーダ現業員
10. 宮古島における線状エコーについて

宮古島地台 立津 元信
下地 隆義

11. 冬期、先島近海に発生する低気圧、波動のレーダエコーパターンについて 宮古島地台 下地 朝勇
12. 小エコーの移動から台風の中心を求める方法について 石垣島地台 山川 武夫
13. 石垣島における台風エコーのZ-R関係の測定 石垣島地台 石原 正仁
14. 那覇空港における春先から梅雨期の雲分布 那覇航空測候所 恩納 則光
15. 南西諸島域を通過する寒冷前線の雲構造について 那覇航空測候所 仲本 正隆
新垣 和夫
16. 気象庁のマグニチュードと沖縄3官署におけるマグニチュードの比較 宮古島地台 細野 耕司

第二部

17. 流れの可視化(Tornado-like Vortex) 琉大教養部 中村 功
18. 北太平洋西部海域の表面水温および気温の季節変化 琉大短大部 石島 英
19. 台風周辺場の客観解析法による外挿 琉大教養部 中村 功
石垣 雅和
島尻 勝
20. 1976年10月23日沖縄本島地方における大雨の解析 沖縄気象台 金城 博明
21. 1976年10月23日の竜巻について 沖縄気象台 上原 清
22. 台湾の見える諸条件の検討 与那国島測候所 伊志嶺安進